

博物館だより

M U S E U M



博物館 TEL 63-1122

展示資料紹介 「耳飾り土偶」

本館で常設展示中の「耳飾り土偶」(西根地区・かみとない上斗内Ⅲ遺跡出土)を紹介します。

◆三角形の両耳に穴

この土偶は今から約3,500年前の縄文時代後期のものです。高さは16.4cmで、右腕と左足は欠けていますが、ほぼ全身が残っています。この土偶は、顔は逆三角形でやや上を向いており、切れ長に吊り上がる目、胴長で短足という縄文後期の土偶の特徴をよく示している良好な資料です。

また、顔の両側に三角形に突起した耳がついており、



耳飾り土偶 八幡平市蔵

よく見ると穴が開いています。これは真ん中に穴の開いた丸い耳飾りを装着した様子を表現しています。このことから「耳飾り土偶」と呼ばれています。

◆縄文人も耳飾りを装着していた

なぜ耳飾りと分かるのかというと、今から約7,000年から5,000年前の縄文時代前期の全国の遺跡から土製・石製の耳飾りが多く見つかるようになりますが、この土偶のように耳飾りを装着した様子が示されていることから、実際に耳飾りとして用いられていたものと判断されます。



上斗内Ⅲ遺跡の位置

図書館だより

L I B R A R Y



図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

◆読書マラソンの参加を受け付けます

7月1日(金)から読書マラソンが始まります。申し込みは6月18日(土)から始め、申込者にはスタンプカードを発行します。参加を希望する人は市立図書館または松尾・荒屋各コミセン図書室から申し込んでください。

▶期間 7月1日(金)から12月26日(月)まで

◆新着ピックアップ

『物語ウクライナの歴史』

著/黒川 祐次、出版社/中央公論新社

人口5,000万人、ロシアに次いでヨーロッパ第2の広い国土を持つ国ながら、日本になじみの薄いウクライナ。古代からロシア・ソ連の支配時代を経て1991年の独立まで、ウクライナの歴史を学べる1冊です。



『せかいのくにでいただきます!』

作・絵/野村 たかあき、出版社/講談社

世界の子どもたちはどんなごはんを食べているのかな?14カ国の料理と食卓の様子がわかる絵本です。

それぞれの国の言葉で「おいしい」を言ってみよう。

『た』

作/田島 征三、出版社/佼成出版社

たがやす、たねまく、たすけあう、たたえあう、そしてたのしむ! 「た」から始まる言葉で稲作を中心とした、日本の農耕文化を描いた絵本です。豊かな日本語表現と躍動感あふれる絵が魅力的です。

